

正誤表 (Erratum)

修士論文タイトル： 「天文応用に向けた小型電子ビームイオントラップの開発と大型放射光施設 SPring-8 での多価イオン精密分光実験」

著者： 平田 玲央

お詫びと訂正：

修士論文「天文応用に向けた小型電子ビームイオントラップの開発と大型放射光施設 SPring-8 での多価イオン精密分光実験」本文およびアブストラクトにおいて、以下の誤りがございました。

訂正内容： 誤記載箇所の訂正

1. 修士論文本文中での誤記載箇所

(i) 概要（冒頭3ページ目） 第3段落, 第6行目

誤：「（3G/3C 振動子強度比の 95 %上限値）を 0.306 に制限した。」

正：「（3G/3C 振動子強度比の 95 %上限値）を 0.322 に制限した。」

(ii) p. 91, 第5段落, 第2行目 式 (6.6)

誤： $\frac{f_{3G}}{f_{3C}} < 0.306$

正： $\frac{f_{3G}}{f_{3C}} < 0.322$

(iii) p. 93, 第3段落, 第5行目

誤：「 $f_{3G}/f_{3C} < 0.306$ のように制限した。」

正：「 $f_{3G}/f_{3C} < 0.322$ のように制限した。」

2. アブストラクト中での誤記載箇所

(i) 第3段落（■放射光実験（5章・6章））, 第11行目

誤：「3G/3C 振動子強度比を 0.306（95%上限）に制限した。」

正：「3G/3C 振動子強度比を 0.322（95%上限）に制限した。」

訂正理由：

上記の誤りは、振動子強度比の値（スペクトルフィットのパラメータから計算）を、パラメータ自由度の設定が異なるバージョンのフィッティングスクリプトを用いた古い計算結果と、執筆時に取り違えたことにより発生した誤記載であり、著者による応募前の確認不足によるものである。

訂正が論文の内容へ与える影響：

ここで訂正する数値は、本論文の実験において一方の輝線が未検出だったことにより実験値から制限された振動子強度比の上限値であり、訂正前後の値とも既存の理論計算による文献値と矛盾しない結果であることから、本訂正は本論文の議論の過程や結論には影響を与えない。